



アメリカのブルー・オリジン社は、11月14日に新型ロケット **ニューグレン**の2回目の打上げと1段目着陸・回収にも成功しま した。ケープカナベラル基地LC-36を使用しました。NASAの **ESCAPADE**(エスケープ・プラズマ・アクセラレーション・アンド・ダイナミクス・

ェクスプローラー)火星探査機2基を軌道にのせました。

ニューグレンの打上げ能力は低軌道(LEO)に45トン、静 止トランスファー軌道(GTO)に13トンとされています。 ファルコン9は、低軌道に22トン、静止トランスファ軌 道に8.3トンの打ち上げ能力があります。

気

H3ロケットの打ち上 で異なりますが、太陽 静止トランスファ軌道 ています。

ESCAPADE探査機の火星到 着は2027年9月、軌道を調整 した後、科学観測を開始する のは2028年予定です。

2025年1月16日のニューグ



げ能力は、打上条件 |同期軌道へ4トン以上、

へ6.5トン以上とされ







たが、1段目着陸・回収は失敗していました。

今回の**ニューグレン**の第1段ブースターの着陸・回収に改 めて注目しています。ブルーオリジン社は、**ニューシェパー** ドで垂直離着陸・再使用技術を確立しています。

ファルコン9のスペースX社は、11月16日現在完了した打上総 数574回、そのうち着陸総数は534回です。再利用回数499回 です。

次のニューグレン3号機打上計画は、2026年1月です。

月面着陸を計画しているブルー ムーンマーク1号着陸船の原型を搭 載予定です。

*特記ない画像は全て@blueorigin.



水平滑空を終え ようとしている

台船にまっすぐ おりるのでなく スライドダウン





